

株主のみなさまへ



第161期 中間報告書

平成27年4月1日から平成27年9月30日まで

証券コード：4046

<http://www.osaka-soda.co.jp/>

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120—094—777(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.osaka-soda.co.jp/ (ただし、やむを得ない事由により電子公告を行うことができない場合、 日本経済新聞に掲載する方法により行います。)

(ご注意)

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にお問合せください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。

単元未満株式をお持ちの株主さまへ

当社は、1単元(1,000株)に満たない当社株式を所有されている株主さまの便宜をはかるため、「単元未満株式の買増・買取制度」を実施しております。
お手続きなどの詳細に関しましては、証券会社にて株式を管理されている場合はお取引先の証券会社に、特別口座にて株式を管理されている場合は、三菱UFJ信託銀行にお問合せください。



本社
〒550-0011 大阪市西区阿波座1-12-18
TEL.06-6110-1560

100TH
おかげさまで100周年

Something Better with Chemicals



株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素より格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社グループは、第161期中間期(平成27年4月1日から平成27年9月30日まで)の決算を行いましたので、ここに事業の概況についてご報告申し上げます。

当社は、今年創立100周年を迎え、本年10月1日付けで商号を「株式会社大阪ソーダ」へ変更いたしました。当社創業時の精神である開発力を一層深化させ、次の100年へ向けてより活力と革新力のあるグローバル企業へと進化させてまいります。

平成27年12月

代表取締役
社長執行役員

佐藤 存

事業の経過およびその成果

当中間期におけるわが国経済は、堅調な企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな景気回復基調が続いているものの、米国の利上げ予測に加え、中国をはじめとする新興国等の景気減速への警戒感も高まってきており、先行き不透明な状況で推移しました。

このような環境のもと、当社グループは、5カ年の中期経営計画『NEXT FRONTIER-100』の2年目にあたり、

「新製品・新規事業の創出」、「海外事業の拡大」および「既存事業の再構築・再強化」を3つの方針として、事業の拡大・強化ならびにコスト削減に取り組んでまいりました。

以上の結果、当中間期の売上高は503億4千7百万円と前年同期比2.9%増加しました。利益面においては、機能化学品事業の伸長により、営業利益は30億8千万円と前年同期比30.5%の増加、経常利益も32億5千5百万円と前年同期比23.1%の増加、四半期純利益も19億7千7百万円と前年同期比25.6%の増加となりました。

なお、中間配当につきましては、1株につき5円(内、記念配当1円)とさせていただきます。通期では10円(内、記念配当2円)を予定しております。

通期の見通し

今後の見通しにつきましては、堅調な企業収益や雇用および所得環境の改善により、緩やかな景気回復基調が継続するものと期待されますが、米国の利上げ予測に加え、中国をはじめとする新興国等の景気減速への警

戒感も高まってきており、当社グループを取り巻く環境は厳しい状況で推移するものと予想されます。

このような情勢のもと、基礎化学品では、事業環境の変化を注視し、地域密着型の営業活動を推進することにより、シェア拡大に取り組んでまいります。エピクロルヒドリン事業は、水島工場の生産能力を増強するとともに、さらなるコスト削減に取り組み、AC・EPチェーンのグローバル競争力の強化を図り、積極的にシェア拡大を推進してまいります。

機能化学品では、エピクロルヒドリンゴムの自動車用途、ダップ樹脂のUVインキ用途を中心に拡販を進める一方で、医薬品原薬・中間体、医薬品精製材料の拡大に取り組み、事業拡大を図ってまいります。

住宅設備ほかでは、新素材およびケミカル技術を応用した生活関連商品の開発ならびに販路の拡大に注力してまいります。

これらの施策により、今期売上高1,050億円、経常利益63億円の達成に向け、全力で取り組んでまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



OSAKA SODA

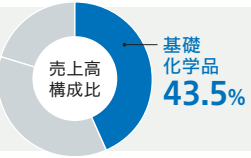
グループ企業理念

高い志をもち 独創的なものづくりで 豊かな社会の実現に貢献します

部門別の状況(連結)

基礎 化学品

売上高 **219億2千3百万円** **1.8%増加** ↑

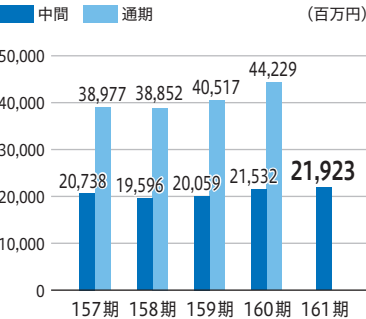


クロール・アルカリは、市況軟化の影響により、売上高が減少しました。

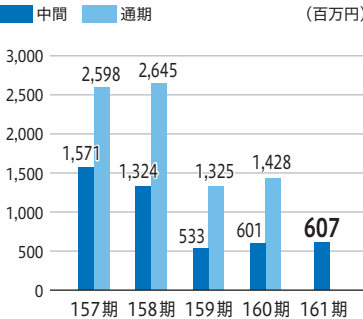
エピクロルヒドリンは、国内および海外ともに需要が堅調に推移しましたので、売上高が増加しました。

以上の結果、基礎化学品の売上高は、219億2千3百万円と前年同期比1.8%の増加となりました。

売上高(連結)

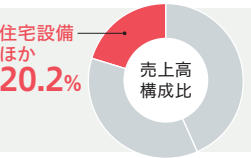


営業利益(連結)



住宅設備 ほか

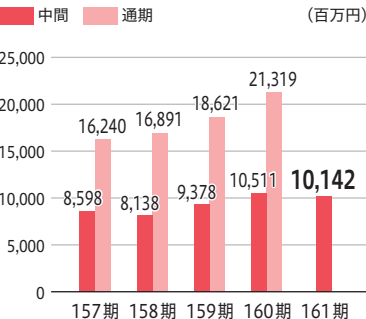
売上高 **101億4千2百万円** **3.5%減少** ↓



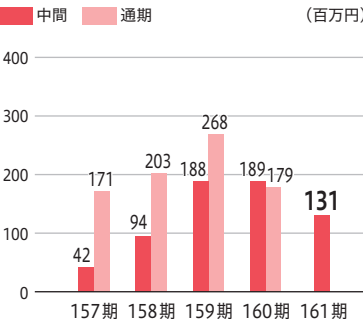
生活関連商品は、季節商品が低調に推移しましたので売上高が減少しました。エンジニアリング事業においても大型工事案件が減少したため、売上高が減少しました。

以上の結果、住宅設備ほかの売上高は、101億4千2百万円と前年同期比3.5%の減少となりました。

売上高(連結)

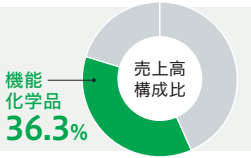


営業利益(連結)



機能 化学品

売上高 **182億8千2百万円** **8.4%増加** ↑



エピクロルヒドリンゴム関連は、中国の自動車生産台数減少の影響を受け、在庫調整があったものの、韓国・東南アジア向けの輸出が堅調に推移したことにより、売上高が増加しました。

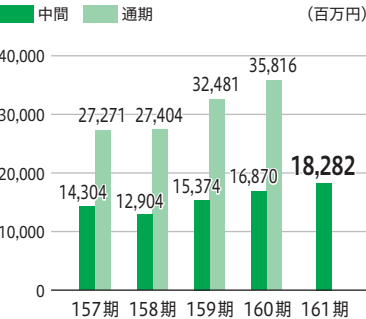
ダップ樹脂は、国内および中国向けUVインキ用途向けが増加し、台湾向け成形材料用途への輸出も増加したため、売上高が増加しました。

医薬品精製材料は糖尿病治療薬・高脂

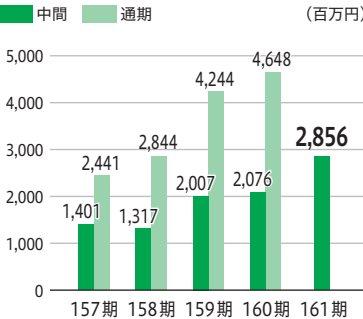
血症治療薬用途向けが好調に推移し、アジア向け輸出も増加したため、売上高が増加しました。

医薬品原薬・中間体は、米国向け後期臨床試験用原薬に加え、抗潰瘍薬および抗インフルエンザ薬の中間体等が堅調に推移し、売上高が増加しました。

売上高(連結)



営業利益(連結)



アリルエーテル類は、中国経済減速にともない販売量が減少したため、売上高が減少しました。

以上の結果、機能化学品の売上高は182億8千2百万円と前年同期比8.4%の増加となりました。

大阪ソーダグループのセグメントと主要製品

●セグメント

基礎化学品

機能化学品

住宅設備ほか

●主要製品

かせいソーダ、塩酸、液化塩素、塩素ガス、次亜塩素酸ソーダ、亜塩素酸ソーダ、塩素酸ソーダ、かせいカリ、水素ガス、エピクロルヒドリン、アリルクロライド、農薬原体、塗料原料、接着剤原料 など

アリルエーテル類、エピクロルヒドリンゴム、ダップ樹脂、省エネタイヤ用改質剤、医薬品精製材料、レンズ材料、感光性樹脂、カラーレジスト、電極、医薬品原薬・中間体、光学活性体、ガラスファイバー、資源リサイクル など

ダップ加工材、住宅関連製品、健康食品、化学薬品の輸送・貯蔵、化学プラント、環境保全設備建設 など

1 新社名「大阪ソーダ」をPR

社名変更広告を掲載

2015年10月1日、ダイソー株式会社は社名を株式会社大阪ソーダに変更いたしました。

創業時の精神である開発力を一層深化させ、独創的なものづくりを継承し、発展させていくため、企業イメージの刷新に積極的に取り組んでまいります。

この広告では、「本日、大阪ソーダ 始動します」のキャッチコピーで、次の100年に向けて新たにチャレンジするという意思を表明しています。



日本経済新聞広告 10月1日掲載

交通広告をリニューアル

2015年10月1日の社名変更にもない、東海道新幹線東京駅ホームの看板を更新いたしました。

大阪ソーダが活力と革新力のある企業グループを目指す姿勢を赤の「挑」の一文字で表現しています。今後も引き続き、大阪ソーダを積極的にPRしてまいります。



新幹線東京駅看板

2 ホームページリニューアルで新たな企業イメージを発信

デザイン、構成を一新

2015年10月1日、社名変更にもないホームページをリニューアルしました。今回のリニューアルでは、ご利用される皆さまにより見やすく、快適に使っていただけるようにデザイン・構成を一新しました。

また、スマートフォンやタブレットなど通信デバイスの多様化に対応し、スクロールするだけで全て見ることのできるデザインにいたしました。



 <http://www.osaka-soda.co.jp/>

会社案内動画を掲載

ホームページリニューアルにもない会社案内動画「CORPORATE MOVIE」を掲載しました。ご覧になりたい動画を選択いただき、見るすることができます。



3 CSR 活動への取り組み

地域・社会への貢献

当社グループはCSR(企業の社会的責任)活動の一環としてさまざまな活動に取り組んでいます。

● 全社員参加型の社会貢献活動を実施

今年は創立100周年を記念して、全社員が参加する社会貢献活動を企画し、創立記念日である10月26日に各事業所ごとに地域清掃活動を実施いたしました。



尼崎地区



大阪地区



小倉地区



松山地区



水島地区

● 100周年記念植樹

尼崎工場のある地で兵庫県尼崎市の「尼崎の森 中央緑地」において100年かけた森づくりに賛同し、ウバメガシの記念植樹を行ないました。



4 大阪ソーダレポートを発刊

企業価値をトータルな視点で報告

2015年10月、ホームページにこれまで掲載していた「環境・安全報告書」に代わるものとして、「大阪ソーダレポート」を掲載いたしました。

本報告書では、当社事業の強み、ビジネスモデル、成長戦略など企業価値を高める活動と、環境保全、品質保証など、企業価値を支える活動をご報告しています。当社の企業価値をトータルな視点でご報告し、皆さまとのコミュニケーションが一層促進されることを目標にしています。



大阪ソーダレポート 2015

5 ヘルスケア関連事業に投資

医薬品原薬受託ビジネス

当社グループは次代の成長を牽引する事業としてヘルスケア関連事業の育成に注力しています。

2015年8月、グループ会社のサンヨーファイン(株)の松山工場内に医薬品原薬製造設備が完成しました。クリーンルーム内で晶析から固液分離、乾燥、粉碎、包装までの重要工程を一貫して行うことが可能となりました。

今後、血流改善や骨粗しょう症、筋疾患などの新薬の受託製造にこの設備を活用し事業の拡大を図ってまいります。



原薬製造設備エリア

中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表(要約)

(単位：百万円)

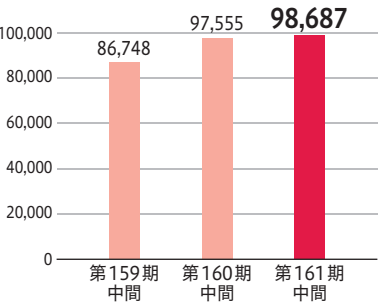
科 目	前中間連結会計期末 (平成 26 年 9 月 30 日現在)	当中間連結会計期末 (平成 27 年 9 月 30 日現在)	前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成 27 年 3 月 31 日現在)
資産の部			
流動資産	58,107	58,611	58,450
固定資産	39,447	40,076	42,443
有形固定資産	21,855	19,822	20,586
無形固定資産	1,204	1,105	1,159
投資その他の資産	16,387	19,148	20,697
資産合計	97,555	98,687	100,893
負債の部			
流動負債	31,855	31,082	32,258
固定負債	21,706	19,228	20,930
負債合計	53,562	50,310	53,189
純資産の部			
株主資本	39,206	42,211	40,657
その他の包括利益累計額	4,786	6,164	7,047
純資産合計	43,993	48,376	47,704
負債純資産合計	97,555	98,687	100,893

中間連結損益計算書(要約)

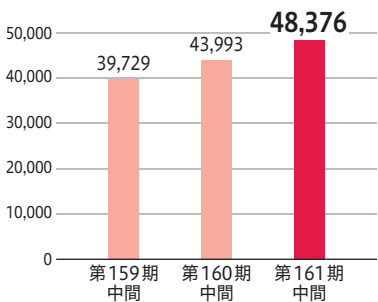
(単位：百万円)

科 目	前中間連結会計期間 (自 平成 26 年 4 月 1 日 至 平成 26 年 9 月 30 日)	当中間連結会計期間 (自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 27 年 9 月 30 日)	前連結会計年度の 要約連結損益計算書 (自 平成 26 年 4 月 1 日 至 平成 27 年 3 月 31 日)
売上高	48,914	50,347	101,365
売上原価	41,427	41,859	85,642
売上総利益	7,486	8,488	15,723
販売費及び一般管理費	5,125	5,408	10,550
営業利益	2,361	3,080	5,172
営業外収益	426	232	794
営業外費用	143	56	220
経常利益	2,644	3,255	5,747
特別利益	42	18	1,282
特別損失	192	322	1,620
税金等調整前中間(当期)純利益	2,493	2,952	5,409
法人税、住民税及び事業税	706	904	1,712
法人税等調整額	212	70	247
中間(当期)純利益	1,574	1,977	3,450

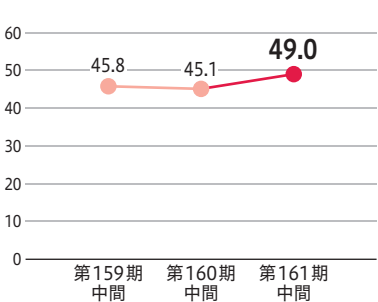
総資産 (単位：百万円)



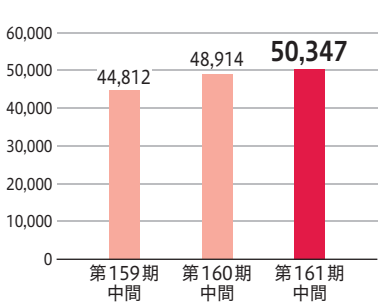
純資産 (単位：百万円)



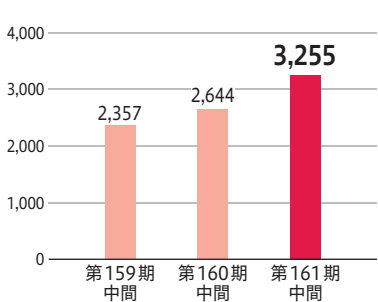
自己資本比率 (単位：%)



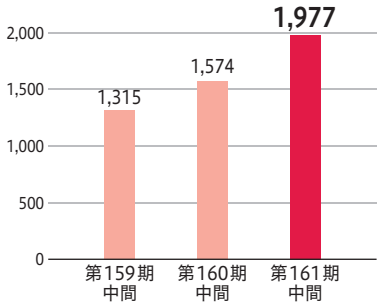
売上高 (単位：百万円)



経常利益 (単位：百万円)



中間純利益 (単位：百万円)



中間連結財務諸表

中間連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円)

科 目	前中間連結会計期間 (自 平成26年4月 1日 至 平成26年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成27年4月 1日 至 平成27年9月30日)	前連結会計年度 (自 平成26年4月 1日 至 平成27年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,612	1,068	7,460
投資活動によるキャッシュ・フロー	△399	△791	△1,853
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,318	△1,663	5,954
現金及び現金同等物に係る換算差額	140	15	260
現金及び現金同等物の増減額	9,671	△1,371	11,822
現金及び現金同等物の期首残高	8,197	20,095	8,197
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	17,944	19,025	20,095

株式情報(平成27年9月30日)

株式の状況

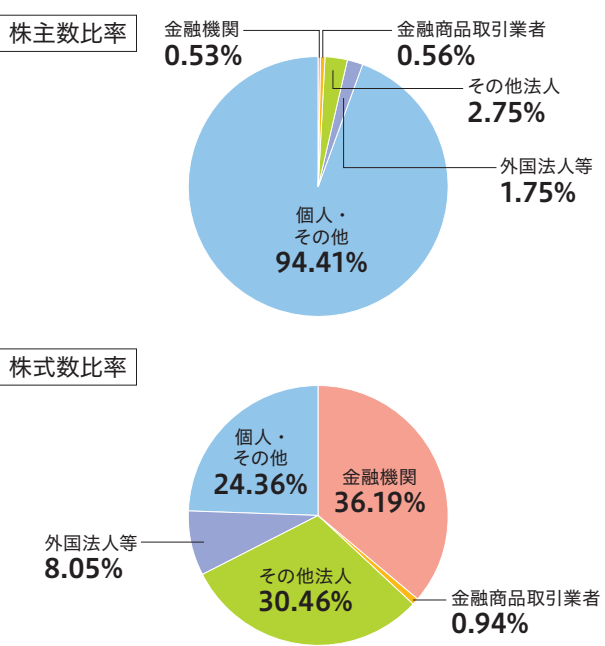
発行可能株式総数 ----- 300,000,000株
発行済株式の総数 ----- 111,771,671株
株主数 ----- 6,405名

大株主一覧(上位10名)

株 主 名	持株数(千株)	出資比率(%)
株式会社三菱東京UFJ銀行	4,384	4.16
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,134	3.92
株式会社福岡銀行	4,113	3.90
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	3,842	3.64
株式会社伊予銀行	3,744	3.55
帝人株式会社	3,393	3.22
株式会社みずほ銀行	3,348	3.17
日本生命保険相互会社	3,188	3.02
旭化成ケミカルズ株式会社	2,933	2.78
ダイソー協栄会	2,821	2.67

(注)出資比率は、発行済株式の総数から自己株式(6,415,785株)を控除して計算しております。

株主分布状況



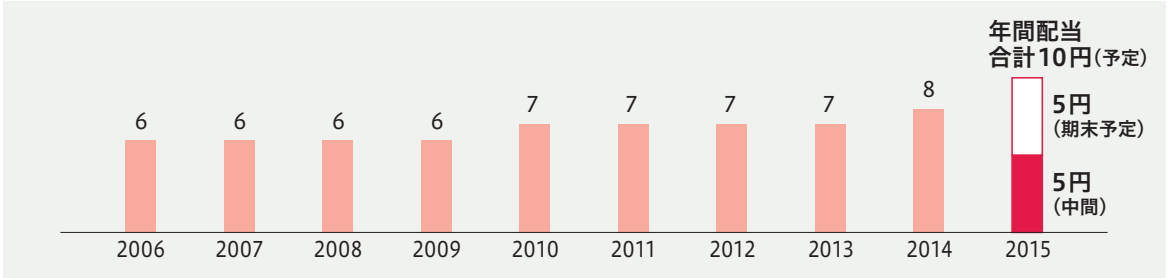
(注)「個人・その他」には、当社の自己株としての保有分(5.74%)が含まれております。

2015年度中間期の配当について

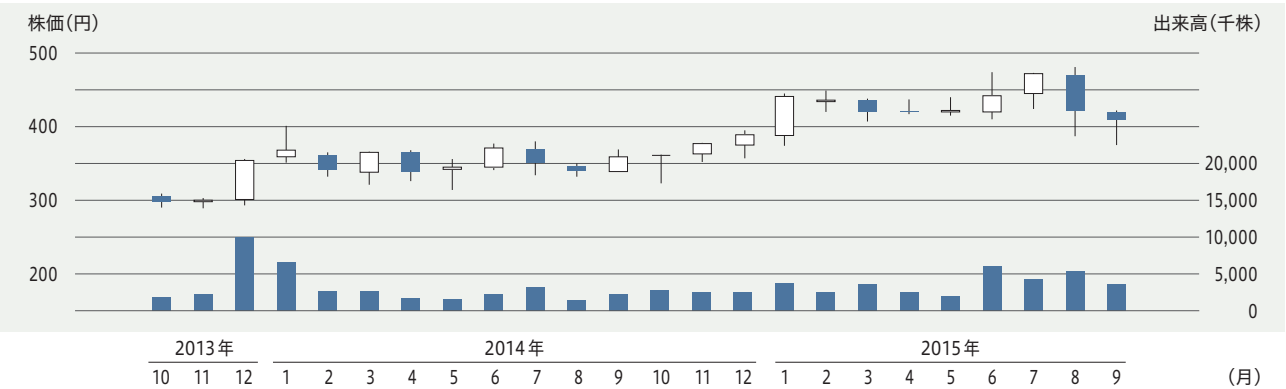
2015年11月6日の取締役会決議により1株当たり普通配当4円に記念配当1円を加え、5円とさせていただきます。期末配当金につきましても記念配当1円を加え、5円を予定しており、年間配当は10円となる見通しです。

なお、中間期の配当金のお支払いは、2015年12月8日とさせていただきます。

年間配当金の推移(1株当たり)



株価および出来高の推移



会社概要(平成27年9月30日)

社 名 ----- 株式会社大阪ソーダ
OSAKA SODA CO., LTD.
U R L ----- <http://www.osaka-soda.co.jp/>
創 立 ----- 1915年(大正4年)10月26日
資 本 金 ----- 10,882百万円
連結従業員数 ----- 809名

子会社等の状況

国内	
会 社 名	主要な事業内容
ダイソーケミカル(株)	化学製品の販売
ダイソーエンジニアリング(株)	電極の製造販売、化学設備の設計・施工
サンヨーファイン(株)	医薬品原薬・中間体の製造・販売
(株)インペックス	化学製品の販売
(株)ジェイ・エム・アール	資源リサイクル
DSロジスティクス(株)	化学製品の運送取扱い
岡山化成(株)	化学製品の製造
DSウェルフーズ(株)	健康食品の製造、加工販売

海外	
会 社 名	主要な事業内容
大曹化工貿易(上海)有限公司	機能化学品・電子材料等の輸出入
台灣大曹化工股份有限公司	機能化学品・電子材料等の輸出入
DAISO Fine Chem USA, Inc.	シリカゲルの販売、カラムの製造販売
DAISO Fine Chem GmbH	シリカゲル、医薬品原薬・中間体の販売
DAISO CHEMICAL (THAILAND) CO.,LTD.	機能化学品・電子材料等の輸出入

役員(平成27年10月1日)

[取締役・監査役]

代 表 取 締 役 社 長 執 行 役 員	佐 藤 存
取 締 役 常 務 執 行 役 員	赤 松 伸 一
取 締 役 常 務 執 行 役 員	寺 田 健 志
取 締 役 上 席 執 行 役 員	堀 登
取 締 役 (社 外)	福 島 功
取 締 役 (社 外)	二 村 文 友
常 勤 監 査 役	瀬 川 恭 史
常 勤 監 査 役 (社 外)	谷 口 隆 治
監 査 役 (社 外)	森 真 二

[執行役員]

執 行 役 員	高 野 早 人
執 行 役 員	川 端 一 弥
執 行 役 員	中 島 与 志 明
執 行 役 員	小 西 淳 夫
執 行 役 員	門 屋 純 一
執 行 役 員	馬 場 一 郎
執 行 役 員	松 本 敏
執 行 役 員	古 川 喜 朗
執 行 役 員	西 本 光 伸
執 行 役 員	森 裕 治 郎
執 行 役 員	雑 賀 哲 行

事業所等の状況(平成27年9月30日)

